

生徒の変化を見逃さないために

◎ 自身の行動

- 生徒へ笑顔で積極的に挨拶をしている
- 生徒の顔を見ながら出席確認をしている
- 学級日誌・個人ノート等を確認している
- 生徒同士の話し合いの場づくりを心がけている
- 掃除の仕上がり(机の並び方、ごみの取り残し等)を確認している
- 休み時間や清掃時等に生徒へ積極的に声かけをしている

◎ 情報共有

- 生徒の話題を日常的に職員室で取り上げている
- 気になる生徒の情報を職員室で共有している
- 養護教諭・スクールカウンセラーと生徒の情報を共有している
- いじめに関するニュースや研修した内容等を、教職員同士で伝え合っている

◎ 生徒・保護者への対応

- 生徒の提出物や教材等の忘れ物に気を配っている
- 教室の生徒の机の中を確認している
- 生徒の体調(腹痛や頭痛等)に気を配っている
- 生徒間のあだ名や呼び方に気を配っている
- 生徒の服装の汚れや破れ等に気を配っている
- 生徒の不適切な発言を聞き流さず、その場で注意・指導している
- 生徒の頑張りを伝える通信づくりをしている
- 気になる生徒の家庭への連絡や家庭訪問をしている

適切ないじめ対応のために

◎ 自身の行動

- 自校の「学校いじめ防止基本方針」の内容を理解している
- 「いじめ防止対策推進法」の定義に基づき、いじめられている生徒の心情に寄り添い、いじめを認知しようとしている
- いじめに関するアンケートから明らかになったいじめに関する情報を把握している
- いじめの防止等のために行っている校内研修等の内容を日常の指導に生かしている

◎ 情報共有

- 校内いじめ対応チームのメンバーを知っている
- 日頃から管理職や同僚と報告・連絡・相談ができる関係を築いている
- 生徒の気になる様子を見聞きしたら、どんな些細なことでも学年職員や管理職等に報告している
- 少しでもいじめが疑われたら、校内いじめ対応チームに報告している
- いじめに関するアンケートの回答はその日のうちに確認し、他の教職員と情報共有している

◎ 生徒・保護者への対応

- 生徒に対し、いじめは絶対に許せない行為であることを各教科、道徳の時間、特別活動等を通じて計画的に指導している
- 生徒に対し、いじめ等の行為を見聞きした場合は、見て見ぬふりをせず、必ず教職員に伝えるよう指導している
- 生徒や保護者に対し、授業、保護者会、面談、諸通信等の多様な機会を活用し、いじめ防止のための取り組みを伝えている
- 生徒や保護者に対し、いじめ等についての相談は学校以外の相談窓口でも行っていることを伝えている
- 生徒や保護者に対し、いじめに関するアンケートの結果について必ずフィードバックしている